

2. 杉並区における洪水の特徴

(1) 集中豪雨と浸水履歴

本項では、近年の杉並区における集中豪雨あるいは台風による水害の状況をまとめる。

表 2-1 に昭和 56 年～平成 17 年までの杉並区の被害状況一覧を示すとともに、図 2-4 にこの時期の主な浸水地域を示す。

これらから、杉並区においては、昭和 56 年以降ほぼ毎年、集中豪雨や台風によって家屋浸水の被害が発生している。

年月日	気象	降雨量 mm		被害状況			主な被災地	備考
		総雨量	時間最大	床上浸水	床下浸水	その他		
昭和56年10月23日	台風24号	194	38	51	105		堀ノ内・和田	
昭和57年9月12日	台風18号	257	62	708	376		堀ノ内・和田	
昭和60年7月14日	集中豪雨	75	73	124	176		堀ノ内・和田	
平成元年8月2日	集中豪雨	266	55	184	107		堀ノ内・和田	
平成元年8月10日	集中豪雨	83	79	32	130		堀ノ内・和田	
平成2年8月8日	集中豪雨	90	78	7	24		堀ノ内・和田	
平成3年8月1日	集中豪雨	37	37	2	10		堀ノ内・和田	
平成3年9月19日	台風18号	256	40	42	42		堀ノ内・和田	
平成5年8月27日	台風11号	272	40	99	175		堀ノ内・和田	
平成5年11月13日	集中豪雨	146	34		10		堀ノ内・和田	
平成6年7月7日	集中豪雨	103	91	48	138		阿佐谷・高円寺	
平成7年8月2日	集中豪雨	68	67		9		久我山・高井戸	
平成7年9月16日	台風12号	144	13			倒木 19		最大瞬間風速 25.7m/s
平成8年9月22日	台風17号	249	34	2	34	倒木 253	堀ノ内・和田	最大瞬間風速 30.8m/s
平成9年6月20日	台風7号	107	23			倒木 6		最大瞬間風速 23.0m/s
平成10年9月16日	台風5号	190	34		4		堀ノ内・和田	
平成11年7月21日	集中豪雨	71	65	107	45		阿佐谷・区内全域	
平成11年8月14日	集中豪雨	165	39	6	4		堀ノ内・和田	
平成11年8月29日	集中豪雨	57	46	17	1		阿佐谷	
平成12年7月7日	台風3号	212	29		3	倒木 1	堀ノ内	
平成13年7月18日	集中豪雨	57	57	17	28		阿佐谷	
平成14年8月2日	集中豪雨	67	53	2	2		堀ノ内・和泉	
平成15年6月25日	集中豪雨	61	47	6	16		荻窪	
平成15年10月13日	集中豪雨	64	62	1	16		荻窪	
平成16年10月9日	台風22号	278	55	9	45		和田・荻窪	
平成17年8月15日	集中豪雨	99	92	14	13	6(土間上)	上荻・荻窪	9/12現在
平成17年9月4日	集中豪雨	258	112	1201	669	444(土間上)	善福寺・西荻北・上荻・南荻窪・荻窪・成田東・成田西・松ノ木・堀ノ内・和田・阿佐谷南・井草・上井草・永福外	11/16現在

表 2-1 集中豪雨・台風による杉並区内の主な被害状況

(出典：杉並区)

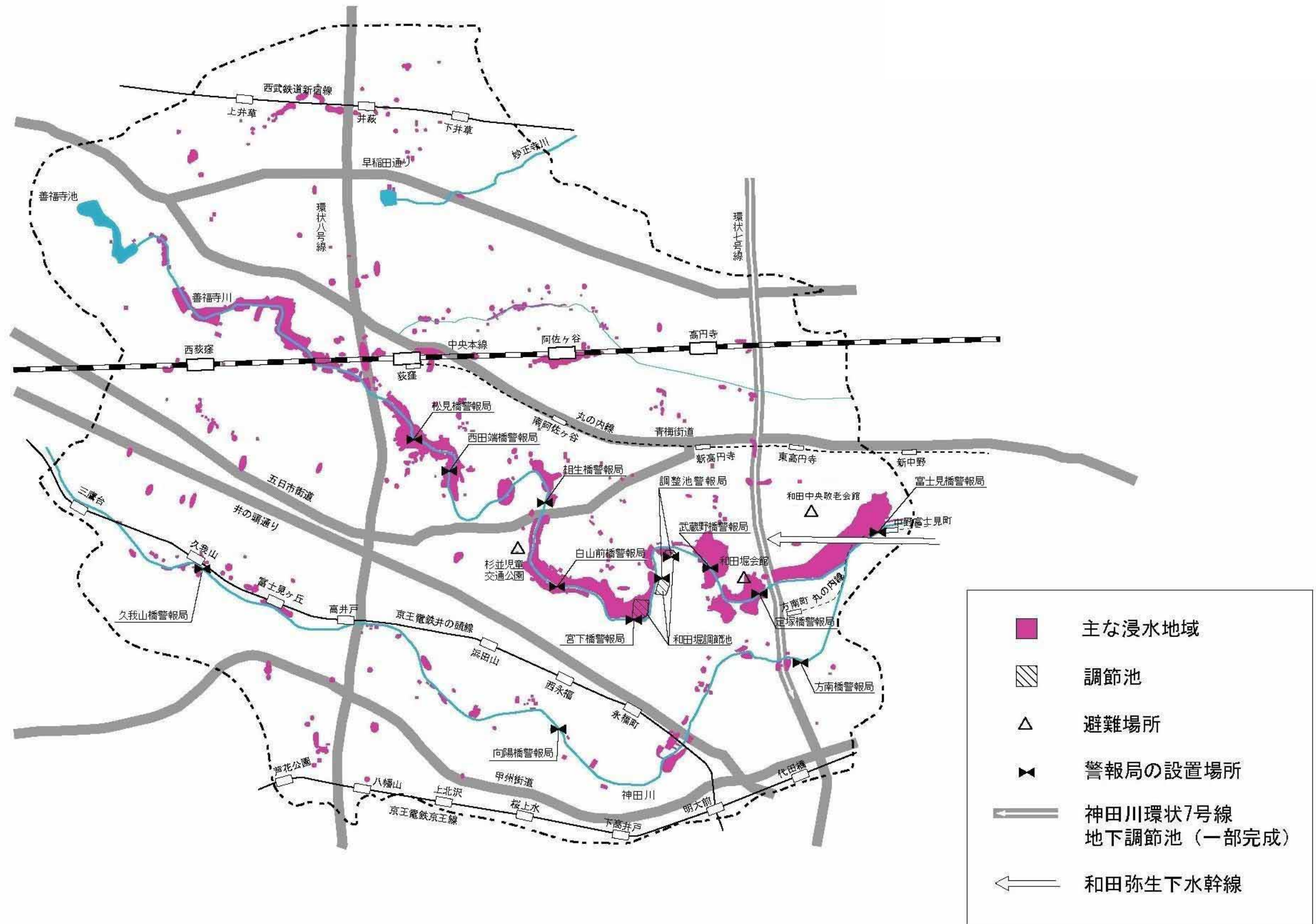


図 2-4 杉並区浸水実績図（昭和 56 年～平成 17 年）（杉並区資料より作成）

(2) 水害の特徴

杉並区を流れる神田川では、河川溢水の外水氾濫と下水道の内水氾濫が複合発生し、浸水被害が生じている。降雨が時間当たり約 30mm~50mm を越える流域・地域で浸水被害が発生している。なお、局所的な集中豪雨では窪地での内水氾濫が、台風性降雨では河川の溢水氾濫が顕著に現れる特徴がある。(図 2-5 浸水状況と降雨分布を参照)

各降雨要因とその浸水被害形態の特徴は、整理すると以下のとおりである。

<雷雨性集中豪雨>

- ・局所的であり、短時間降雨強度は大きい。
- ・降雨集中域では、河川から離れた窪地での浸水域が顕著にみられる。
- ・短時間降雨強度がより大きくなると、河川沿いにも浸水域がみられる。

<台風性降雨>

- ・降雨が広域で長時間に渡るため、総雨量が多く、流出ボリュームが大きい。
- ・このため、河川沿いの浸水域が顕著にみられる。
- ・短時間降雨強度が大きい場合、窪地での内水氾濫も生じている。

降雨要因と浸水被害形態

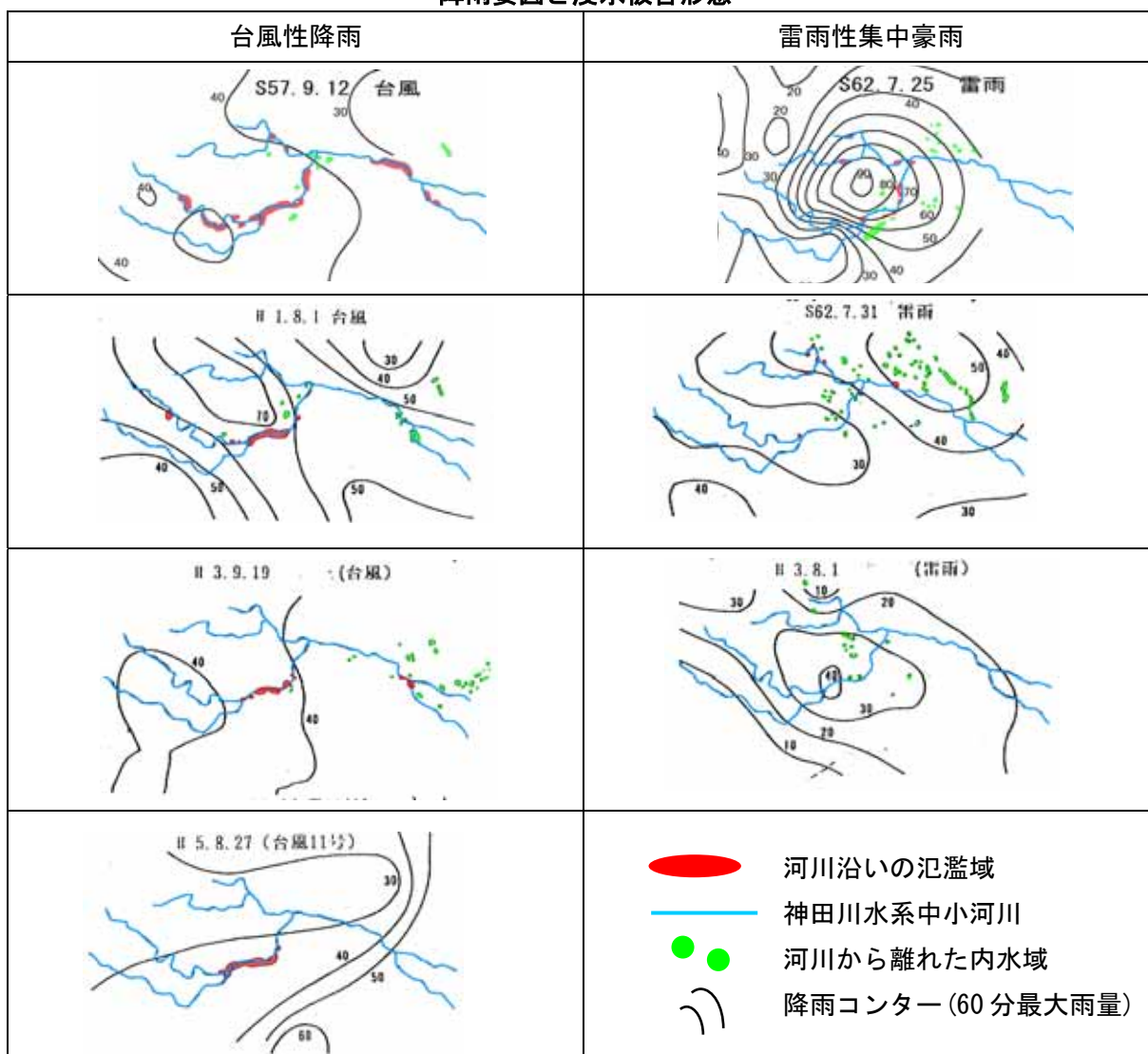


図 2-5 浸水状況と降雨分布